

このたびはミツバ「盗難警報機専用オプション パーツ保護ワイヤー」をお買い上げ頂きましてありがとうございます。この取付・取扱説明書は、本品の正しい使いかたや取り付けかた、使用上の注意について記載してあります。取付・取扱説明書を最後まで必ずお読み頂き、正しく本品を取り付け、お使いください。また、取付・取扱説明書が必要になったとき、すぐに利用出来るように大切に保管してください。

1. 安全上の注意事項

記号と意味は次のようになっております。

 警告	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されることを意味します。また、法律に違反することを意味します。
 注意	取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険性が想定されることを意味します。また、物的損害が発生する恐れがあることを意味します。

ここには、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

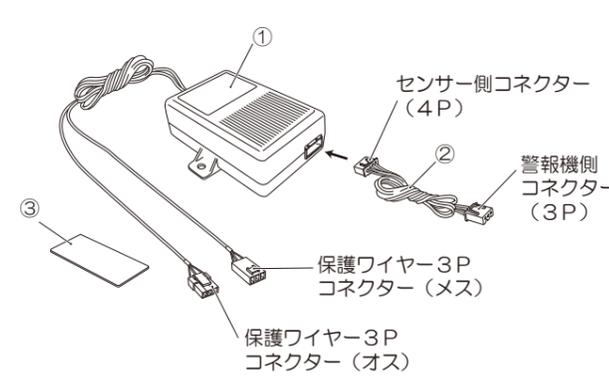
 警告	本品は、ミツバ「ガードッグ CAシリーズ」との組み合わせで使用できます。他の商品との組み合わせは、車の故障や思わぬ事故の原因となりますので、絶対に行わないでください。
--	---

 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 本品を使用中に発生した盗難や事故については、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。 ● 本品は12V車にのみ取り付け可能です。24V車への取り付けはできません。 ● 本品の配線接続時は、バッテリーケーブルのマイナス端子を外してから作業してください。ケーブルを外さないで作業すると、配線がショートして火災・感電・故障の原因となります。外しかたについては、お近くのカーディーラーやサービスマニュアル等で外しかたを確認してください。車両搭載装置に影響する恐れがあります。 ● 車のバッテリーが弱っている場合及び車本来の機能に不備がある場合は、正常に動作しないことがあります。 ● 本品を高湿多湿な場所に設置しないでください。故障の原因となります。 ● 本品には水がかからないようにしてください。火災・感電・故障の原因となります。 ● 本品の分解、塗装、改造は絶対行わないでください。火災・感電・故障の原因となります。
--	--

2. 使用上の注意事項

 注意	本品は、パーツ盗難を防止するセンサーです。（ワイヤーを通すには、Φ15以上の穴が必要です。）穴あけ加工を必要とするパーツへの取り付けはお止めください。
--	---

3. 仕様

機種	TKP-03											
センサーレベル	レベル1（センサーが感知した場合、警戒ランクSにて30秒間警報します。）											
機能	保護ワイヤーの切断を感知します。											
構成部品												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>部品名称</th> <th>個数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>パーツ保護ワイヤー本体</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>ハーネス</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>両面テープ</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>電源電圧：DC12V 消費電流：待機時 0mA 警戒時 2mA 感知時 3mA 動作温度範囲：-5～60℃</p>	No	部品名称	個数	①	パーツ保護ワイヤー本体	1	②	ハーネス	1	③	両面テープ
No	部品名称	個数										
①	パーツ保護ワイヤー本体	1										
②	ハーネス	1										
③	両面テープ	1										

4. 取り付け方法

 警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 配線類が挟み込まれたりすると、断線やショートし、本品や車の故障、さらには車両火災の原因となります。 ● ステアリングシャフトやペダル類等の可動部付近には固定しないでください。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。
--	--

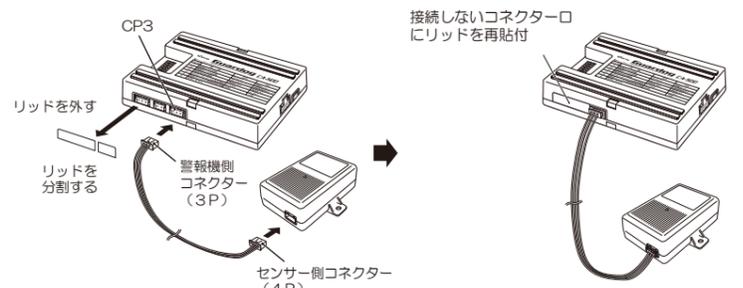
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転中あるいはドアを閉めるときの振動等で外れてしまうことのないよう、本品は、しっかりと固定してください。両面テープで固定する際は、取り付け面の汚れや油分をきれいに拭き取ってから貼り付けてください。 ● 本品は、運転操作の邪魔にならない所へ取り付けしてください。 ● 本品は防水構造になっておりません。水のかかる恐れのある場所には設置しないでください。 ● 本品は無線機、強い電波やノイズを発生する機器とは離れた場所に取り付けてください。動作不良の原因となります。 ● エアコンの吹き出し口付近には取り付けしないでください。高温になったり、結露の恐れがあり、本品の故障の原因となります。 ● 内装パネルやドアの内張りを外す際は、部品を破損しないように慎重に作業してください。パネルや内張りが元に戻らなくなる恐れがあります。
--	---

- (1) 本体を取り付けます。
本体を車室内のなるべく目に付かない場所(ダッシュボード内等)に取り付けます。このとき、著しく高温・多湿になる場所は避けてください。また、本体の固定は両面テープまたはインシュロックタイ等でしっかりと固定してください。
- (2) 保護ワイヤーを接続します。
保護ワイヤーの3Pコネクタを一旦外し、警戒したいパーツ保護ワイヤーを通してから、再度、3Pコネクタを接続します。このとき、警戒したい内装パーツの裏側取付ステアタッチメント等に保護ワイヤーを通してください。

 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 穴あけ加工を必要とするパーツへの取り付けはお止めください。商品を破損させる恐れがあります。 ● 保護ワイヤーの3Pコネクタに水がかかる可能性がある場合は、ビニールテープ等でコネクタ部を防水処理してください。故障の原因となります。
---	---

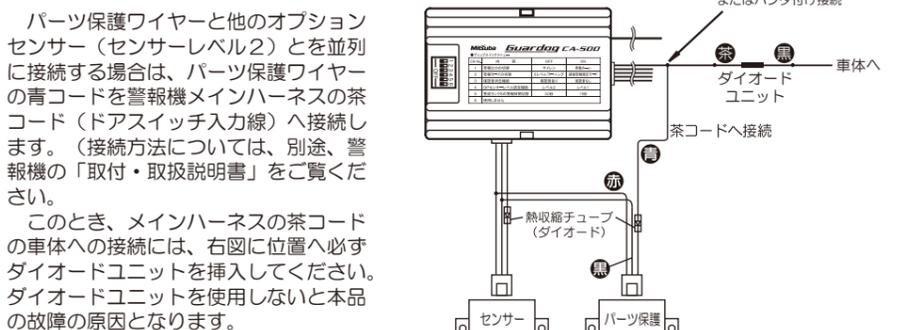
- (3) パーツ保護ワイヤー本体と警報機本体を接続します。
付属のハーネスの4Pコネクタ側を保護ワイヤー本体へ、3Pコネクタ側を警報機本体のオプションセンサー接続口へ接続してください。

【例】CA-500に接続する場合



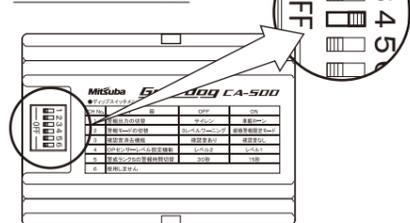
 注意	盗難警報機側の接続方法については、別途、盗難警報機の取付・取扱説明書を参照してください。
---	--

注意 警報機本体の接続口一つに対して、センサーレベル2のオプションセンサーとパーツ保護ワイヤーとを並列に接続する場合



- (4) 警報機のディップスイッチ（OPセンサーレベル設定）を「センサーレベル1」に設定します。
警報機のディップスイッチ(OPセンサーレベル設定)を「センサーレベル1」に設定することで、パーツ保護ワイヤーが感知したときに警報機は警戒ランクSに達し、30秒間警報します。
※ このとき、警報機の取付・取扱説明書内の「設定内容確認表」へ設定状態を記入してください。

【例】CA-500の場合



4. 動作確認

- (1) 警報機をセットします。
リモコンで警報機をセットしてください。
- (2) 保護ワイヤーの3Pコネクタを外してください。
このとき、警報機は警戒ランクSにて30秒間警報します。

5. 仕上げ

- (1) 配線したハーネス類を整理します。
これまでに配線したハーネス類をビニールテープやインシュロックタイで確実に固定してください。

 警告	<ul style="list-style-type: none"> ● ステアリングシャフトやブレーキペダルの可動部付近には固定しないでください。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。 ● 配線類が挟み込まれたりすると、断線やショートし、本品や車の故障、さらには車両火災の原因となります。
---	--

- (2) 「設定内容確認表」へ接続状態について記入してください。
警報機本体の「取付・取扱説明書」の「設定内容確認表」へ接続状態を記入してください。万一、不具合が発生した場合のお問い合わせに必要となります。